

令和6年度 学習の指針(シラバス) 野田市立第一中学校

◎学年(2)学年

◎教科(国語)

使用教科書	教育出版 伝え合う言葉 中学国語2		
学習目標	社会生活に必要な国語についてその特質を理解し、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、言葉がもつ価値を認識すると共に、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
学習計画	前期	4月 「虹の足」、「質問する力をつける」、「タオル」 5月 「活用のある自立語」、「新聞の投書を書く」、「まちがえやすい漢字」 —第1回定期テスト— 6月 「日本の花火の楽しみ」、「説得力のある提案をする」、「敬語」、「構成を明確にして手紙を書く」、「夏の葬列」 7月 「話し言葉と書き言葉」、「SNS から自由になるために」 —第2回定期テスト— 9月 「持続可能な未来を創るために」、「紙の建築」、「根拠をもとに意見文を書く」、「活用のない自立語」	
	後期	10月 「敦盛の最期」、「二千五百年前からのメッセージ」、「坊っちゃん」、「短歌の味わい」 11月 「漢字の多義性」 —第3回定期テスト— 12月 「ガイアの知性」、「記事を書く」、「相違点を明確にして聞く」 1月 「学ぶ力」、「よりよい結論を導く討論をする」 2月 「付属語のいろいろ」、「豚」、「類義語・対義語・多義語・同音語」、「同音の漢字」、「走れメロス」 —第4回定期テスト— 3月 「連作ショートショートを書く」、「四季のたより」	
主な活動形態や使用教材など	【主な活動形態】 個人活動、ペア活動、グループ学習、班活動 【主な使用教材】 よくわかる国語の学習2(ワーク)、単元別漢字2(漢字ワーク)、ノート、プリント、デジタル学習教材		
評価の観点別内容や評価の方法	観点	評価の内容	評価の方法
	知識・技能	・言語の特徴や使い方に関する事項を身につけることができるか。	毎週行われる漢字テスト 定期テスト 授業で行う小テスト 等
	思考・判断・表現	・目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討できるか ・表記や語句の用法、叙述の仕方を確かめて文章を整えることができるか ・文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができるか	・ノート ・定期テスト ・授業で扱う書き物 ・発表 ・スピーチ ・授業観察 等
主体的に学習に取り組む態度	・意欲的に国語の学習に取り組むことができるか	・授業態度 ・提出物 ・発表 等	
学習についてのアドバイス	【授業では】 ・発表する場面、聞く場面、話し合う場面、書く場面など、どのようなシーンでもそれぞれの活動には意味があります。その意味を理解し、一つひとつの活動において、特にどの技能に重点を置いているかを意識しましょう。 ・わからないことがあったら、その日のうちに先生や友達に聞いて解決しておきましょう。 【家庭では】 ・わからなかった問題はその日のうちに復習をしましょう。 ・漢字は何度もテストをすること、文章は何度も音読をすることで身につくスピードが速くなります。 ・ワークについているQRコードを活用し、問題演習に取り組みましょう。		

